

令和元年度

事業報告書

自 平成31年4月 1日  
至 令和 2 年3月31日

公益財団法人石川県産業創出支援機構



# 目 次

第1. 事業概要 .....	1
第2. 事業別実施状況 .....	2
I. 新産業の創出支援 .....	2
II. 新市場の開拓推進 .....	7
III. 経営基盤の強化促進 .....	10
IV. 産業振興施設の管理運営 .....	13
第3. 庶務事項 .....	15



# 第1. 事業概要

石川県産業創出支援機構（I S I C O）は、平成11年の設立以来、県内中小・ベンチャー企業の総合的支援機関として国や県の様々な産業支援施策を活用しながら、県内中小企業の経営の安定と発展を積極的に支援してきたところである。

そうした中、本年は、財団設立20周年という記念の年にあたり、これまでの活動成果を広く県内外に発信するとともに、次代を見据えた効果的な企業支援の在り方を探り、更なる飛躍を期するため、「20周年記念誌」の発行、「20周年記念展」及び「20周年記念講演会」を実施した。

さらに、当年度は、AI・IoT等を搭載した生産設備の導入による生産性向上を図る取り組み支援を拡充するとともに、非製造部門に対する生産性向上を支援するため、定型的な事務作業を効率化するRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）の普及啓発を行い、県内企業のさらなる生産性向上を推進した。

これらを中心に実施した事業は、次のとおりである。

## 1. 新産業の創出支援

- ・産学官連携による技術研究開発の推進、国等の大型共同研究開発プロジェクトの実施
- ・地域の産業化資源を活用した新たなビジネスの創出
- ・創造的・意欲的中小企業の発掘、創業・新事業支援
- ・知的財産の保護・活用や外国出願支援等

## 2. 新市場の開拓推進

- ・受発注取引情報の収集提供と取引斡旋
- ・販路開拓アドバイザー等による取引斡旋
- ・首都圏・海外等の各種展示出展・商談会開催による新市場開拓の推進等

## 3. 経営基盤の強化促進

- ・情報誌「I S I C O」、ホームページを活用した産業情報の提供
- ・アドバイザーによる窓口相談、外部専門家派遣等を活用した経営力強化支援
- ・助成金や設備の貸与による設備導入支援
- ・ものづくり企業を中心とした産業人材の育成支援等

## 4. 産業振興施設の管理運営

- ・「地場産業振興センター」の管理運営
- ・「フロンティアラボ」「クリエイトラボ」の整備・運営
- ・「石川ハイテク交流センター」を拠点とするサイエンスパーク内の交流連携の促進と活性化支援など

## 第2. 事業別実施状況

### I. 新産業の創出支援

#### 1. 産学官連携技術研究開発事業

##### (1) 新技術・新製品開発事業化可能性調査事業

新技術・新製品の効率的な研究開発、事業化を推進する目的で、開発の前段階で実施する予備的検討のための調査を支援した。

○令和元年度採択件数 2件（助成額2,884千円）

- ①快適なテキスタイルセンサの開発のための調査
- ②花卉の長期保存に関する研究

「東京大学先端科学技術研究センター共同研究支援事業 新技術・新製品可能性調査」

○令和元年度採択件数 1件（助成額650千円）

- ・製造業とスポーツの融合を図ったパワーアシストシステムの開発

##### (2) 新技術・新製品研究開発支援事業

新産業の創造を図るため、次世代産業の基礎となる基盤技術の高度化などの新技術・新製品の研究開発及び実用化研究等を支援した。

「新技術・新製品研究開発支援事業」

○令和元年度採択件数 3件（交付予定額39,000千円）

- ①高接着性を有するCFRP（炭素繊維強化樹脂）シートの開発
- ②ユーチューバー向けのエゴサーチサービス「YT Cobitt」の精度、スピード及び利便性向上に関する調査・研究
- ③能登ヒバ精油を使った院内感染対策製品開発

○令和元年度助成件数 4件（助成額32,454千円）

「東京大学先端科学技術研究センター共同研究支援事業 新技術・新製品研究開発支援」

○令和元年度採択件数 1件（交付予定額6,639千円）

- ・介助者がいなくても、車いすを利用者のみで乗れる階段昇降装置の開発

○令和元年度助成件数 2件（助成額2,403千円）

「省力化需要の獲得に向けた新製品開発及び販路開拓支援事業」

○令和元年度助成件数 2件（助成額2,275千円）

##### (3) 次世代産業創出支援事業

次世代産業の創出を図るため、今後の地域経済の牽引役として期待される分野（ライフサイエンス分野、炭素繊維分野、航空機分野、エネルギー・低炭素化分野）の産学・産業間連携による研究開発を支援した。

[炭素繊維分野]

- 令和元年度採択件数 1件（交付予定額18,000千円）
  - ・熱可塑性炭素繊維複合部材の高精度湾曲・連続プレス成形技術の開発（金工大、工試）
- 令和元年度助成件数 3件（助成額29,244千円）

[航空機分野]

- 令和元年度採択件数 1件（交付予定額18,000千円）
  - ・航空機部品の高精度加工を実現するゼロ段取り特殊チャックシステムの開発（工試）
- 令和元年度助成件数 2件（助成額21,000千円）

[エネルギー・低炭素化分野]

- 令和元年度助成件数 1件（助成額8,700千円）

[ライフサイエンス分野]

- 令和元年度採択件数 1件（交付予定額3,200千円）
  - ・乳がんの診断・治療を可能にする高感度カテプシンE検出装置の構築と実用化（北陸先端大）
- 令和元年度助成件数 1件（助成額1,680千円）

**（４）農林水産物機能性等評価・実証支援事業**

地場の農林水産物やその加工品が有する機能性成分等の評価・実証を支援した。

- 令和元年度採択件数 1件（助成額330千円）
  - ・能登産海藻の市場価値拡大を目的とした新規機能性の評価・実証

**（５）事業化促進支援事業**

集中支援分野（炭素繊維、ライフサイエンス、航空機、エネルギー）等において、県内企業の事業化促進を図ることを目的とし、これまでに取り組んだ研究開発成果の事業化に向けた評価・実証試験等の取り組みに対して支援した。

- 令和元年度採択件数 3件（交付予定額77,452千円）
  - ①ゲノム医療と診断パネルの開発－抗がん剤（膵臓癌）の効果予測から脂質異常症の診断まで－（金沢大）
  - ②炭素繊維を用いた立位労働作業現場の負担軽減に於ける軽量労働補助装具の開発（金沢工業大）
  - ③AI技術による橋梁の点検・診断支援システムの開発（企業1社）
- 令和元年度助成件数 8件（助成額85,743千円）

**（６）航空機産業連携促進事業**

地域中核企業ローカルイノベーション支援事業の委託を受け、航空機部品の企業連携による一貫生産事業分野の拡大と更なる国際競争力の強化及び販路開拓を目的に、コーディネータを配し、エンジン部品、機体部品、内装部品などへの事業分野の拡大も視野に、生産技術、管理技術の高度化を図り、国際競争力の強化を図った。

更に、欧州、アジア地域航空機関連企業等をターゲットに海外販路開拓も支援した。

- 事業内容
  - ①航空機エンジン部品、機体部品、内装部品などへの事業分野の拡大
  - ②外部専門家による生産技術・管理技術の高度化と各種認証・認定の取得
  - ③パリエアショー2019の調査、シンガポールエアショー2020、航空・宇宙機器 開発展への出展、エアロマート・名古屋2019への参加など国内外販路開拓

## (7) 炭素繊維複合材料連携促進事業

炭素繊維複合材料に関する取り組みの成果を事業化につなげるために、川下産業が集積し、炭素繊維複合材料の研究開発プロジェクトに取り組む東海地域との連携を図ることにより、川上から川下まで一貫した協力体制の構築を目指すとともに、炭素繊維の用途拡大や県内企業の製品開発・事業化の加速化を図った。

### ○事業内容

- ①東海・北陸連携コンポジットハイウエイ構想推進に向けたシンポジウム等の開催
- ②炭素繊維複合材料の用途拡大に向けた研究会の開催
- ③県内企業の国際展開を図るため、コーディネータ2名を委嘱（海外企業等とのマッチングおよび契約書の作成支援）

## (8) 戦略的基盤技術高度化支援事業

製造業の国際競争力強化と新たな事業の創出に資するため、産学官の共同研究体を組成し、実用化に向けた研究開発を実施した。

### <新規6テーマ>

- ①超硬合金積層造形とハイブリッド加工による超薄肉長尺精密ジグの革新的製造技術の開発
- ②高性能プロセッサの発熱問題を解決する環境調和型電子冷却モジュールの開発
- ③炭素繊維強化複合材加工と生産性を両立するレーザー技術の研究開発
- ④変形性膝関節症治療のための高強度小型立体固定プレート及び固定方式の開発
- ⑤航空機部材に適用する熱可塑性CFUDテープを用いたDC/DI（ダイレクト・コンソリデーション/ダイレクト・インスペクション）プロセスの開発
- ⑥熱可塑性樹脂FRPの革新的中空構造部材作製技術の開発

ほか過年度継続5テーマ

## 2. 産業化資源活用推進事業

### (1) 新商品等開発・販路開拓支援事業

産業化資源を活用した中小企業等（小規模企業者を含む）による新商品・新サービスの市場調査から、開発、全国・海外市場での販路開拓に至るまでの取組を支援した。

#### ○中小企業による全国・海外市場を狙った産業化資源活用商品等の開発・事業化支援事業

令和元年度採択件数：24件（採択額 72,000千円）

令和元年度助成件数：59件（助成額 62,114千円）

#### （小規模企業枠）

令和元年度採択件数：11件（採択額 16,500千円）

令和元年度助成件数：17件（助成額 8,798千円）

#### （オリンピック・パラリンピック特別枠）

令和元年度採択件数：3件（採択額 10,000千円）

令和元年度助成件数：7件（助成額 11,377千円）

#### ○商品の魅力向上への取り組みに対する支援事業

令和元年度採択件数：14件（採択額 14,000千円）

令和元年度助成件数：16件（助成額 10,077千円）



○新商品開発のための事前調査事業

令和元年度採択件数：13件（採択額 7,500千円）

令和元年度助成件数：16件（助成額 5,642千円）

**(2) ものづくり企業特別支援事業**

本県経済をけん引する機械や繊維等のものづくり企業による新製品等の市場調査から、開発、全国・海外市場での販路開拓に至るまでの一貫した取組を支援した。

令和元年度採択件数：5件（採択額 43,500千円）

令和元年度助成件数：11件（助成額 38,006千円）

**(3) 企業間・異業種連携支援事業**

複数の企業（川上企業と川中企業、異なる地域資源・技術・経営資源を有する企業等）や異業種連携、産学官連携等による新商品・新サービスの市場調査から、開発、全国・海外市場での販路開拓に至るまでの取組を支援した。

令和元年度採択件数：2件（採択額 10,000千円）

令和元年度助成件数：3件（助成額 7,754千円）

**(4) 産業化資源活用新ビジネス創出支援事業（旧活性化ファンド）**

地域の農林水産物や産地の技術、観光資源等の産業化資源を活用した新商品・販路開拓に係る助成金の過年度採択分を管理・支援した。

**①助成金事業**

○中小企業による全国・海外市場を狙った産業化資源活用商品等の開発・事業化支援事業

令和元年度助成件数：53件（助成額 39,735千円）

（小規模企業枠）

令和元年度助成件数：27件（助成額 12,155千円）

（海外展開支援枠）

令和元年度助成件数：8件（助成額 9,720千円）

（オリンピック・パラリンピック特別枠）

令和元年度助成件数：4件（助成額 6,143千円）

**(5) 農商工・医商工連携産業創出支援事業（旧活性化ファンド）**

農商工連携、医商工連携による新しいビジネスモデル構築事業に係る助成金の過年度採択分を管理・支援した。

**①助成金事業（農商工連携）**

○農林水産物の一次加工施設等整備支援事業

令和元年度助成件数：2件（助成額 12,298千円）

○農業参入によるビジネス構築支援事業

令和元年度助成件数：1件（助成額 799千円）

**②助成金事業（医商工連携）**

令和元年度助成件数：3件（助成額 3,900千円）

### 3. 創造的企業指導育成支援事業

#### (1) ベンチャー企業創出育成支援事業

将来の本県産業を牽引していくような革新的な技術、製品・サービスを持ったベンチャー企業の創出・育成を図るため、全国公募による公開審査で認定起業家を選定し、経営指導の専門家を中心とした支援チームによる集中的な支援や優秀起業家へのスタートアップ資金を助成した。

- 新規認定企業数 3社
- 助成企業数 7社（助成額 8,923千円）

また、起業をテーマに、県内支援機関と共同で、起業家、学生、企業、支援機関等が気軽に集える「いしかわスタートアップステーション」を開催し、その第1回目は、設立20周年記念として、日本ユニシス（株）代表取締役平岡昭良氏にご講演いただいた。

#### (2) 創業支援コンサルティング事業

創業間もない企業の経営戦略、販路開拓、マーケティングなどを支援するため、専門家による経営相談を実施し、経営基盤の強化を図った。

また、首都圏からの移住創業者を発掘するための移住創業セミナーを開催した。

- 連携機関 21機関（産学官金の県内支援機関）
- 開催回数 9回（参加者 856名）

#### (3) 移住・起業支援金助成

東京から本県に移住し、I S I C Oの支援を受けて起業する者に対して、店舗の賃借料等の起業費用の一部を助成し、支援した。

- 令和元年度採択件数 4件（助成額 3,589千円）

#### (4) 女性起業家支援ネットワーク構築事業

起業を志す、または事業を進めるうえで課題を抱える創業間もない女性起業家をフォローできる体制を構築し、女性のニーズに応じたきめ細やかな支援を実施した。

- 北陸地域の創業支援機関、金融機関等を中心とした支援ネットワークを構築
- 女性のための創業支援セミナー・先輩起業家との交流会の開催 など

### 4. 知的財産保護・活用支援事業

#### (1) 知的財産活用支援事業

地域の中小企業の知的財産に関する悩みや課題解決を支援するため、知的財産への意識が希薄な中小企業に対して、知的財産活用の重要性を促すための普及啓発業務を行った。

- 訪問企業数 440件
- 知財活用企業の発掘件数 16件

#### (2) 外国出願支援事業

県内中小企業の外国出願を促進し、海外展開を図るため、外国への特許・商標出願を支援した。

- 特許部門 採択件数 : 2件
- 意匠部門 採択件数 : 1件
- 商標部門 採択件数 : 5件

## Ⅱ. 新市場の開拓推進

### 1. 受注開拓推進事業

#### (1) 取引情報収集提供事業

県内中小企業の受注機会の拡大を図るため、職員やアドバイザーによる巡回調査や県外発注企業への訪問を積極的に実施するとともに、インターネットや情報誌、企業名簿の配布等を通じ、広く受発注情報・製品情報等の収集提供を行い、取引あっせんを推進した。

##### ○受注開拓実績

発注開拓企業件数	520件
あっせん紹介件数	192件
あっせん成立件数	41件
あっせん成立金額	197,981千円
年間取引見込額	513,027千円

#### (2) 受注開拓支援事業

県内中小企業が保有する自社開発製品や独自技術を広くPRするため、広域的な展示会や商談会を開催し、受注先の新規開拓や新分野進出を支援した。

##### ○ビジネス創造フェアいしかわ2019（設立20周年記念展）

開催日	令和元年5月16日～18日
会場	石川県産業展示館2号館
出展規模	81企業3組合・グループ8機関 109小間
入場者数	30,559人

##### ○石川県企業交流懇談会

開催日	令和元年5月16日～17日
会場	石川県産業展示館、金沢東急ホテル
参加者数	県外発注企業 57社（89人） 石川県関係者 7人 県内受注企業 111社（137人）

視察企業数：延べ147社

##### ○石川県受注開拓懇談会

開催日	令和元年11月12日
会場	名古屋東急ホテル（名古屋）
参加者数	県外発注企業 37社（52人） 石川県関係者 7人 県内受注企業 75社（90人）

##### ○石川県技術提案型展示・商談会

開催日	令和元年7月12日
会場	株オティックス（愛知県西尾市）
参加者数	出展企業数 県内企業11社（11提案）
来場者数	101人
開催日	令和元年10月8日
会場	東芝機械株（静岡県沼津市）
出展企業数	県内企業28社 3大学（31提案）
来場者数	178人

開催日：令和2年2月26日～28日  
会場：機械要素技術展（千葉県 幕張メッセ）  
出展企業数：県内企業10社  
来場者数：10,664人

○招聘型商談会の開催

開催回数：17回  
招聘企業：17企業（34名）  
視察企業：県内企業54社と商談

## 2. 販路開拓推進事業

### （1）首都圏等新製品販路開拓支援事業

県内中小企業等が開発した新製品等の販路開拓を促進するため、販路開拓アドバイザーを配置した。

○販路開拓アドバイザーによる販路開拓実績

販路開拓企業件数	444件
あっせん紹介件数	610件
あっせん成立件数	313件
あっせん成立金額	235,917千円

### （2）展示会・商談会等開催事業

県内中小企業が、いしかわ産業化資源活用推進ファンド等の支援策を活用し開発した新製品等を広くPRするため、県内外で展示商談会等を開催し、販路開拓を支援した。

○首都圏等バイヤー招聘型マッチング事業（石川県食品協会主催事業への協力）

会期：令和元年8月21日  
会場：ANAクラウンプラザホテル金沢  
出展者：87社（ISICOあっせん14社）  
招聘バイヤー数：21社

○東京国際ギフトショー秋への出展

会期：令和元年9月3日～6日（4日間）  
会場：東京国際展示場（東京ビッグサイト）青海展示棟  
出展者：21社

○いしかわ伝統工芸フェアへの出展

会期：令和2年2月7日（金）～9日（日）  
会場：東京ドームシティ・プリズムホール  
出展者：9社

○招聘型商談会の開催

開催回数：5回  
招聘企業：4企業（6名）  
商談企業：県内企業45社と商談

○バーチャルモール「お店ばたけISHIKAWA」運営事業

出店数：64店

### (3) ITビジネスマッチング促進事業

本県IT産業の受託開発体質からの脱却を目指し、意欲あるITベンチャー等を対象として、企画提案力の強化につながる勉強会の開催やビジネスモデル構築の支援、自社製品をPRできる商談会の開催等を行った。

○製品開発に関するハンズオン支援

開催回数：4回

参加企業：5社

○IoTニッチトップ企業と県内IT中小企業とのビジネスマッチング商談会

開催日：5月20日、27日、6月19日

参加企業：IoTニッチトップ企業 3社、県内IT企業 13社

商談数：13件

○CEATEC JAPAN 2019（幕張メッセ）への出展

開催日：10月15日～10月18日（4日間）

出展者：6社

商談数：138件

### (4) アンテナショップ活用促進事業

首都圏に販路開拓を希望する中小企業者を対象に、東京銀座にある石川県のアンテナショップにて試食販売を行い、消費者の意見を提供し、商品改良や販路開拓を支援した。

○実施企業数：10社

### (5) 伝統工芸とファッションの融合による新市場創出支援事業

県内伝統産業事業者が行う伝統的な技術・技法とファッション分野との融合により、これまでにない魅力的な商品開発を行い、新規市場開拓を支援した。

○実施企業数：5社（加賀友禅1社、能登上布1社、輪島塗3社）

### (6) 宿泊施設とタイアップした石川の伝統工芸魅力発信事業

県内宿泊施設と伝統工芸事業者が共同で、宿泊施設のニーズに合わせた商品開発を行い、宿泊施設を拠点とした伝統工芸の促進、魅力発信を行った。

○実施宿泊施設数：3社

○実施企業数：4社（加賀毛針1社、加賀友禅1社、九谷焼1社、能登上布1社）

### (7) 海外販路開拓支援事業

人口減少による国内市場の縮小が見込まれる中、新興国市場、特に東南アジア・東アジアの需要の取り込みは重要となっており、両地域のトレンド発信地であるシンガポール、香港において、商談会を開催したほか、現地バイヤーの招聘し、海外販路開拓を支援した。また、EPAの発効により追い風が吹いている欧州での商談会の開催やセールスレップ等を通して、輸出の促進を図った。

○シンガポールビジネス商談会

会期：令和元年10月9日

会場：マンダリン・オーチャード・シンガポール

参加企業：県内食品・伝統工芸、観光関連企業 26社

来場者：現地著名シェフ・伝統工芸バイヤー、食品商社等 182社

○香港ビジネス商談会

会期：令和元年8月6日

会場：ホテル・カオルーン・シャングリラ香港

- 参加企業：県内食品・伝統工芸、観光関連企業 38社  
 来場者：現地著名シェフ・伝統工芸バイヤー、食品商社等 108社
- 欧州ビジネス商談会  
 (ロンドンビジネス商談会)  
 会期：令和元年5月31日  
 会場：ホテル・ソフィテル・ロンドン・セントジェームス  
 参加企業：21社  
 来場者：現地著名シェフ、伝統工芸バイヤー、食品商社等103社
- (パリビジネス商談会)  
 会期：令和元年6月3日  
 会場：ホテル リッツ・パリ  
 参加企業：21社  
 来場者：現地著名シェフ、伝統工芸バイヤー、食品商社等113社

また、フランスで日本酒のコンクールを運営する「クラマスター」との間で「欧州での石川県の地酒PRに関する協力協定」を締結した。1月にはクラマスターを本県に招聘し、県産日本酒の欧州での販路拡大を支援した。

### **Ⅲ. 経営基盤の強化促進**

#### **1. 情報提供事業**

中小・ベンチャー企業の経営に役立つ文献や図書、ビデオソフトなどを整備し、情報ライブラリの充実と利用促進を図るとともに、情報データベースの提供、情報誌の発行、各種広報印刷物による情報の発信・提供に努め、ISICO事業の活動内容と成果の普及を図った。

##### **(1) 情報ライブラリの運営**

○利用件数 985件

##### **(2) 情報誌の発行**

○情報誌「ISICO」の発行

主な内容：①設立20周年記念誌の発行

②定期刊行（県内中小・ベンチャー企業活動情報、産学官連携活動情報等）

発行部数：6,500部（年5回発行）

##### **(3) 産業創出デジタルネットワーク運営事業**

産業情報のポータルサイトとして、中小・ベンチャー企業を応援するホームページ「DGnet・デジネット」を運営し、各種ビジネス情報の収集・提供、経営や技術に関する支援サービス等の提供を行うことにより、中小・ベンチャー企業の創造的事業活動を効率的に支援した。

○アクセス件数 2,084,418件

○DGネット情報登録数 10,764件

○メール配信登録者数 6,335人

## 2. 経営力強化支援事業

中小企業・小規模事業者等が抱える創業から経営革新、経営改善、事業承継などあらゆる経営課題の相談に迅速に対応するため、専門知識を有するアドバイザーを配置し、中小企業等の経営力強化を総合的・集中的に支援した。

○窓口相談・訪問件数 11,440件

### (1) 専門家派遣事業

更なる成長を目指す中小企業・小規模事業者等が抱える経営課題に対して、民間専門家によるコンサルティングを継続的に実施した。

○専門家派遣件数 1,158件(431社)

### (2) よろず支援拠点事業

「よろず支援拠点」では、中小企業診断士、弁護士、税理士等の専門家を配置し、中小企業・小規模事業者が抱える様々な経営課題にワンストップで相談対応を行った。

○来訪相談件数 3,592件

### (3) 経営改善支援センター事業

「経営改善支援センター」では、借入金の返済負担等、財務上の問題を抱えている中小企業・小規模事業者を対象に経営改善計画策定支援を行った。

○経営改善計画策定支援受理件数 9件

○早期経営改善計画策定支援受理件数 24件

### (4) 事業引継ぎ支援センター事業

「事業引継ぎ支援センター」では、中小企業・小規模事業者の事業承継・事業引継ぎに関する課題解決に向けた適切な助言、情報提供、マッチング支援を行った。

○相談対応件数 164件

○譲渡(売り) 106件

○成約件数 25.5件

### (5) プッシュ型事業承継支援高度化事業

県内支援機関で構築されたネットワークを活用し、中小企業経営者へ事業承継を取り巻く実態調査として事業承継診断(アンケート調査)を行った。

○ネットワーク構成機関 82機関

○アンケート回収件数 1,352件

内 個別相談要望 121件

## 3. 中小企業再生支援事業

産業競争力強化法に基づく認定支援機関として、中部経済産業局から「中小企業再生支援協議会事業」の委託を受け、厳しい経営環境にある県内中小企業の再生を支援した。

令和元年度は、相談企業の様々なニーズに応え、納得感が得られるように強く意識して事業に従事した。また、現地相談会など中小企業が気軽に直接相談しやすい環境づくりや、保証協会等の関係支援機関と協議会の持つ金融調整機能を最大限に活用できるような連携強化を図った。その他、

モニタリングの徹底、関係機関（事業引継ぎ支援センター、経営改善支援センター、よろず支援拠点、信用保証協会等）との連携強化と案件の発掘、窓口相談能力の維持向上などに努め、相談企業や金融機関の多様な要望に対応できる体制を整え、支援を行った。

○再生支援協議会（全体会議）の開催	書面表決による開催
○相談件数（企業数）	64件（累計859件）
○継続対応中（1次対応）	11件
○経営改善計画策定中（2次対応）	7件
○計画策定完了（企業数）	30件（累計448件）
○外部専門家派遣件数	279件（8社）

## 4. 設備導入支援事業

### （1）製造工程省力化等支援事業

県内企業の多品種少量生産対応、短納期化、低コスト化等を図る生産工程改善およびロボット化、自動化による省力化に対する取り組みに対して支援した。

○令和元年度採択件数	30件（交付予定額105,700千円）
○令和元年度助成件数	32件（助成額105,962千円）

### （2）ものづくり産業基幹技術未来継承支援事業

県内企業が、サプライチェーンの分断を回避するために消滅・縮小する企業の有する優れた技術を継承する取り組みに対して支援した。

○令和元年度助成件数	1件（助成額1,768千円）
------------	----------------

### （3）設備貸与事業

県内中小企業の経営基盤強化に必要な設備の導入を促進するため、設備貸与割賦事業を実施した。

○貸与件数	22件
○設備金額	351,770千円
○貸与金額	304,232千円

## 5. 産業人材確保・育成支援事業

### （1）産業人材確保定着支援事業

#### ①アドバイザーの設置

県内中小企業からの人材相談に対応するため専門のアドバイザーを配置し、人材の採用・育成・定着等について支援した。

○相談指導件数	121件
---------	------

#### ②人材マネジメントに関するセミナー等の開催

県内企業経営者、人事担当者等を対象とし、人材マネジメント・組織開発全般に関するセミナーを開催した。

○企業向け人材セミナー	12回 受講者数：278人
-------------	---------------



## (2) 産業大学講座等セミナー開催事業

経営全般、人材確保、IT活用等に関する各種セミナーや、県工業試験場と連携した技術セミナーを開催したほか、RPA（Robotic Process Automation）に関するセミナー・体験会を開催し、中小・ベンチャー企業の意識啓発と人材育成を支援した。

○セミナー開催件数	209回	受講者数：3,997人
うち 経営支援セミナー	75回	受講者数：1,756人
人材セミナー	16回	受講者数：286人
IT活用セミナー	68回	受講者数：902人
技術セミナー	50回	受講者数：1,053人

## 6. 地域商業活性化推進事業

地域商業の活性化を図るため、商店街が行う集客イベントや商店街の有志グループ等が行うビジネスプランの事業化等を支援した。

○助成件数 14件（助成額12,940千円）

## IV. 産業振興施設の管理運営

### 1. 会議室・研修室等の提供事業

#### (1) 地場産業振興センター管理運営事業

<貸館事業>

主要経済団体等の拠点集積による相乗効果を目的とした施設運営及び産学官の交流や人材養成のための研修・会議等の場を提供した。

区分	大ホール	コンベンションホール	会議室	研修室	合計
室数	1	1	8	10	20
件数	215	270	1,853	3,236	5,574
金額(千円)	20,007	14,046	21,644	56,537	112,234
稼働率	61.4%	77.1%	64.3%	92.5%	75.8%

延べ利用人数 384,529人  
(視察・展示会等含む)

<企画展示事業>

県内企業等が開発した新商品や地場産品等を石川県地場産業振興センター内の展示施設じばさんギャラリー等の企画展示会を通じて紹介し、当該商品、サービスの需要開拓を支援した。

① 本館（じばさんギャラリー）

・第33回全国手づくりガラス展（4月12日～5月14日）

・じわもんセレクト 工芸・雑貨マルシェ（6月5日～28日）

など、11回の展示会を開催

② 新館（展示室）

・羽咋市商工会・はくい観光～千里浜から神子の里へ（7月5日～8月26日）

・工芸・きもちとかたち展（2月14日～3月8日）

など、9回の展示を実施

## （2）いしかわハイテク交流センター管理運営事業

サイエンスパークの交流拠点である「石川ハイテク交流センター」の管理運営を行い、施設の利用促進を図るとともに、サイエンスパークの総合窓口として、大学、企業、支援機関等の産学官連携を推進した。

利用項目	利用件数	延べ利用人数
会議室	244 件	12,360 人
宿泊室	1,575 件	1,825 人
テニスコート	4 件	31 人
視察・見学等	5 件	101 人
レストラン	—	7,231 人

## 2. 創造拠点施設の提供事業

### （1）サイエンスパーク新産業創造拠点化事業

サイエンスパークの新産業創造拠点化を推進するため、窓口機能の強化を図り、インターネットによる情報の発信、パーク内交流会の開催や産学・産業間連携に向けたコーディネート活動等を積極的に展開するとともに、進出企業等がより高度な研究開発に取り組むため、情報ネットワークのインフラ管理と利用促進を図り、ベンチャー企業や研究開発型企業の立地・集積を促進した。

○ I S P 交流セミナーの実施 1回（参加者54人）

○ I S P ラボ入居者連絡会 3回（参加者25人）

### （2）いしかわクリエイトラボ運営事業

創業間もないベンチャー企業や新分野進出・新技術の開発等を行う中小企業のインキュベーター施設「クリエイトラボ」の管理運営を行うとともに、入居企業の各種相談の対応や専門家等の斡旋・紹介、入居企業の交流会等を開催することにより、創造的な研究開発活動を促進し、入居企業の自立成長を支援した。

○入居企業数 41社

### （3）いしかわフロンティアラボ整備・運営事業

サイエンスパークに、ベンチャー企業や研究開発型企業の集積を図り、新産業創造の拠点形成を推進するため、企業の初期投資軽減を目的とした施設「フロンティアラボ」を運営した。

○入居企業数 11社、18棟（50坪研究棟を1棟新築）

### 第3. 庶務事項

年月日	事項
R1. 6. 13	理事会 ・平成30年度事業報告について ・平成30年度決算報告について ・定時評議員会の開催について
R1. 6. 28	定時評議員会 ・評議員会会長の選任について 評議員会会長 林 勇二郎 氏 ・平成30年度決算報告について ・報告【平成30年度事業報告】
R2. 3. 24	理事会 ・令和元年度収支補正予算について ・令和2年度事業計画及び収支予算について ・令和2年度事業資金の借入について
R2. 3. 31	評議員会（同意書） ・評議員の選任について 【辞任】宮本 研一 氏   【新任】小清水 良次 氏 ・理事の選任について 【辞任】徳田 博 氏   【新任】南井 浩昌 氏 【辞任】浅野 哲夫 氏   【新任】寺野 稔 氏 ・監事の選任について 【辞任】池田 誠 氏   【新任】和田 孝志 氏

【事業報告書の附属明細書】

事業報告の内容を補足する重要な事項はないため、附属明細書は作成しない。